

## 除草剤

# バスタ<sup>®</sup>液剤

<sup>®</sup>=BASF社の登録商標

除草剤分類 **10**

有効成分

グルホシネート ..... 18.5%

登録番号：第20958号

性 状：青緑色澄明水溶性液体

毒 性：普通物\*

有効年限：4年

包 装：500ml×20本

1ℓ×12本

2.2ℓ×6本(系統のみ)

5ℓ×4本

10ℓ×2本(系統のみ)



\*普通物：毒劇物に該当しないものを指している通称

## ■特長

### ●多くの作物に登録があります。

現在の登録数は90作物以上と、多くの作物に登録があります。

### ●人・作物・土・環境に優しい除草剤です。

・バスタは使う人への安全性が高い(普通物)だけでなく、作物には直接薬液がかからなければ影響がありません。地面に落下した有効成分は、土壌微生物によりすばやく分解されるので、土にも環境にもやさしい除草剤です。

・地面に落下したグルホシネート(バスタ液剤の有効成分)は、土壌中の微生物によって速やかに分解され、最終的には「炭酸ガス」「リン酸」「水」に変化します。土壌中に有効成分が残留・蓄積する心配はありません。

### ●幅広い種類の雑草に高い効果があります。

イネ科、広葉、一年生、多年生を問わず、ほとんどの雑草に高い効果を示します。

### ●効果の発現が速く、長期間抑草します。

散布後2～5日で効果が発現し、7～14日後効果が完成します。

# ■適用雑草と使用方法

(2022年7月6日現在)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
小麦	—	一年生雑草	は種前 (雑草生育期)	300～ 750mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	1回	雑草 茎葉 散布	4回以内 (は種後は3回以内)	
	圃場内の 周縁部		は種後出芽前 (雑草生育期)	300～ 500mℓ /10a					3回以内
収穫7日前まで (雑草生育期)			1回						
大麦	—					は種前 (雑草生育期)			300～ 500mℓ /10a
	圃場内の 周縁部		は種後出芽前 (雑草生育期)			3回以内			
収穫7日前まで (雑草生育期)			1回						
そば	—	は種前 (雑草生育期)			300～ 500mℓ /10a	3回以内			
	圃場内の 周縁部	は種後出芽前 (雑草生育期)	3回以内						
		収穫前日まで (雑草生育期)		3回以内					
かんきつ	—	多年生雑草	収穫21日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)				300～ 500mℓ /10a	通常散布 100～ 150ℓ /10a	3回以内
				500～ 1000mℓ /10a			少量散布 30～ 40ℓ /10a		
りんご	—	一年生雑草	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a			3回以内		
		多年生雑草			500～ 1000mℓ /10a				
ぶどう なし おうとう かき もも 小粒核果類 ネクタリン ブルーベリー	—	一年生雑草	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	3回以内				
		多年生雑草				500～ 1000mℓ /10a			
いちじく	—	一年生雑草	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	3回以内				



作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
ごぼう	—	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期は種前又は畦間処理)	300～500mℓ /10a	100～150ℓ /10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内	
にんじん オクラ						3回以内		3回以内	
アスパラガス			収穫前日まで (雑草生育期萌芽前又は畦間処理)			2回以内		2回以内	
			収穫打切り後 (雑草生育期)						
さといも やまのいも			収穫30日前まで (雑草生育期植付前又は畦間処理)			3回以内		3回以内	
かんしょ			収穫14日前まで (雑草生育期挿苗前又は畦間処理)			200～500mℓ /10a		2回以内	2回以内
こんにゃく			雑草生育期植付前又は植付後萌芽前			200～300mℓ /10a		3回以内	3回以内
			収穫30日前まで (雑草生育期畦間処理)			300～500mℓ /10a			
ばれいしょ			雑草生育期植付前又は植付後萌芽直前			100～200mℓ /10a		1回	3回以内 (萌芽前は1回以内、萌芽後は2回以内)
			収穫21日前まで (畦間処理：雑草生育期)					2回以内	
豆類 (種実、ただし、だいずを除く)			は種前 (雑草生育期)			300～500mℓ /10a		3回以内	3回以内
			定植5日前まで (雑草生育期)						
			収穫28日前まで (畦間処理：雑草生育期)						
だいず			は種前 (雑草生育期)						
	は種後出芽前 (雑草生育期)								
	定植5日前まで (雑草生育期)								

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数				
				薬量	希釈水量							
だいず	—	一年生雑草	収穫28日前まで (畦間処理: 雑草生育期)	300~ 500mℓ /10a	100~ 150ℓ /10a	3回以内	雑草 茎葉 散布	3回以内				
えだまめ			収穫28日前まで (株間処理: 本葉5葉期以降 雑草生育期)						は種前 (雑草生育期)	は種後出芽前 (雑草生育期)	定植5日前まで (雑草生育期)	収穫14日前まで (畦間処理: 雑草生育期)
			なばな類						収穫21日前まで (雑草生育期 は種・定植前又は 畦間処理)	は種前 (雑草生育期)	定植前 (雑草生育期)	収穫21日前まで (畦間処理: 雑草生育期)
						かぶ		は種前 (雑草生育期)	定植前 (雑草生育期)	収穫21日前まで (畦間処理: 雑草生育期)	3回以内	3回以内
			にら さやいんげん さやえんどう 実えんどう 未成熟そらまめ					は種前 (雑草生育期)	定植前 (雑草生育期)	収穫前日まで (畦間処理: 雑草生育期)	1回	1回
								しろうり	収穫21日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	3回以内	3回以内	
ほうきぎ						収穫前日まで (雑草生育期 植付前又は 畦間処理)		2回以内	2回以内			
しょうが			3回以内			3回以内						
葉しょうが			収穫14日前まで (雑草生育期 植付前又は 畦間処理)			2回以内		2回以内				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数		
				薬量	希釈水量					
食用ぎく	—	一年生雑草	は種前 (雑草生育期)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	2回以内		2回以内		
水田作物			定植前 (雑草生育期) 収穫14日前まで (畦間処理: 雑草生育期)						1回	1回
			耕起15日前まで (雑草生育期)							
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生雑草 多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)	500～ 1000mℓ /10a	通常散布 100～ 150ℓ /10a 少量散布 30～ 40ℓ /10a	2回以内		2回以内		
水田作物 畑作物 (休耕田)	休耕田		雑草生育期 (草丈50cm以下)						3回以内	3回以内
水田作物 (水田刈跡)	水田刈跡		雑草生育期			1回		1回		
セルリー		一年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	300～ 500mℓ /10a		3回以内		3回以内		
さんしょう (果実)		多年生雑草	収穫7日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)	500～ 750mℓ /10a		2回以内		2回以内		
しそ (花穂)	—	一年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	2回以内		2回以内		
食用桑(葉) 食用桑(果実)			収穫45日前まで (雑草生育期 春期萌芽前及び 夏切り後萌芽前)						3回以内	3回以内
パセリ			収穫3日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)						2回以内	2回以内
もりあざみ			収穫30日前まで (雑草生育期 は種前又は 畦間処理)						3回以内	3回以内

雑草  
茎葉  
散布

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
ふき	—	一年生雑草	収穫120日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	2回以内	雑草 茎葉 散布	2回以内
ふき (ふきのとう)			収穫75日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)					
たけのこ			収穫30日前まで (雑草生育期: 草丈30cm以下)					
たらのき			収穫45日前まで (雑草生育期: 植付前又は 畦間処理)					
なたね			収穫30日前まで (雑草生育期: は種前又は 畦間処理)					
茶			摘採7日前まで (雑草生育期 畦間処理)					
花き類・ 観葉植物			雑草生育期 畦間処理 (草丈20cm以下)					
樹木類								
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	多年生雑草	雑草生育期	500～ 1000mℓ /10a	100～ 200ℓ /10a	3回以内	植栽 地を 除く 樹木 等の 周辺 地に 雑草 茎葉 散布	3回以内
日本芝 (こうらいしば)	—	一年生雑草	雑草生育期 芝休眠期	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	1回	雑草 茎葉 散布	1回
たばこ			植付10日前まで (雑草生育期)	200～ 300mℓ /10a				
桑			大土寄期 (雑草生育期 畦面・畦間処理)	300～ 500mℓ /10a				
			雑草生育期 春期萌芽前及び 夏切り後萌芽前	300～ 500mℓ /10a				

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	グルホシネート及びグルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
とうき	—	一年生雑草	収穫30日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)	300～ 500mℓ /10a	100～ 150ℓ /10a	3回以内	雑草 茎葉 散布	3回以内
とうき(葉)			収穫7日前まで (雑草生育期 定植前又は 畦間処理)					

## マイナー作物等の登録拡大に伴いグループ化した作物名

グループ化した作物名	含まれる作物(品種)
小粒核果類	あんず、うめ、すもも
とうがらし類	甘長とうがらし、かぐらなんばん、きだちとうがらし、ししとう、とうがらし、ハバネロ、ピカンテ
非結球レタス	かきちしゃ、サラダ菜、立ちちしゃ、美味タス、リーフレタス
豆類(種実)	あずき、いんげんまめ、えんどうまめ、ささげ、そらまめ、だいず、なたまめ、ふじまめ、べにばないんげん、らっかせい
なばな類	あさまこな、あすっこ、アレッタ、おおさきな、太田かぶ、オータムポエム、大月菜、大野菜、かいらん、かきな、勝山水菜、くきたちな、ケールッコラ(なばな栽培)、こうさいたい、こまつな(なばな栽培)、さいしん、三景雪菜、四川児菜、たべたい菜、チーマデラーパ、チンゲンサイ(なばな栽培)、チンゲンルッコラ(なばな栽培)、摘菜花、つぼみな、なばな、のらぼうな、博多蕾菜、はくさい(なばな栽培)、はたけな(なばな栽培)、はなっこりー、みずかけな、めいけな

農薬登録における作物群の作物名について(2021年1月14日改正)「農薬の適用病害虫の範囲および使用方法に係る適用作物等の名称について」(2019年3月29日付け30消安第6281号農林水産省消費・安全局農産安全管理課長通知)農林水産消費安全技術センターホームページをご参照ください。

<http://www.acis.famic.go.jp/shinsei/6281.pdf>

表の使用に際しては以下の事項に留意してください。

注1 現在、農薬の適用作物には含まれていない作物を含みます。適用作物に含まれていない作物については、農薬登録時にその名称が変更される場合があります。

注2 品種名及び栽培条件(施設栽培等)等については省略している場合がありますが、農薬登録時に品種名又は栽培条件等の指定がある場合は、当該品種又は栽培条件等のみ使用できるものです。

## ⚠ 効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製して、使いきってください。展着剤は必要ありません。
- 本剤は土壤に落下すると速やかに不活性化し、効果を発現しないので薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるように散布してください。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低下するので時期を失しないように散布してください。草丈15～30cmを目安に散布してください。



- 散布後6時間以内の降雨は効果を減らすことがあるので、天候をよく見極めてから散布してください。
- 植物に薬液が付着すると薬害が生ずるので、散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布してください。特に、野菜類の生育期畦間散布や水田畦畔で使用する場合は作物にかからないように十分注意して散布してください。
- 少量散布の場合は専用のノズル(30~40ℓ/10a)を使用してください。
- 芝に散布する場合、生育中の芝には薬害を生じるので使用しないでください。また、芝の休眠直後や萌芽期に近くなってからの散布では萌芽抑制など薬害を生じることがあるので、芝が完全に休眠している時期に散布してください。
- だいたいの畦間・株間処理に使用する場合、噴口はできるだけ低くし、本葉にかからないように散布してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分に注意してください。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器はほ場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## ⚠ 安全使用上の注意事項

- 公園、堤とうなどで使用する場合は、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水源地等に本剤が飛散・流入しないように十分に注意してください。
- 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、空容器は圃場などに放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際には防護マスク、不浸透性防除衣などを着用してください。散布液を吸い込んだり、浴びないように注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがい、洗眼してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。



バスタ専用製品ページ